

海洋教育パイオニアスクールプログラム

成果報告書1 海洋教育のデザイン

- 1、石垣市立真喜良小学校
- 2、活動テーマ「サンゴの海を知り、体験し、愛するプログラム」
- 3、実践の概要・ねらい「自分たちの住む島を取り巻く海を知り、守っていきたいという意識を生む。」
- 4、実践計画

対象 石垣市立真喜良小学校5年生 66名

① テーマ・概要・活動計画、教科等との関連

(1) H29年5月19日 第1回「サンゴってなんだろう？」

サンゴクイズ、パネルシアター、ドーナツコーラルなどのアクティビティを通し、サンゴの生態などの基本的な事や自分の生活との関わりについて知る。サンゴに興味を持つ。

教科書との関連：「理科」・生命のつながりを考える・生命の連続性。 指導要領：生命の連続性

(2) H29年5月23日 第2回「生きているサンゴと海の生き物をじっくり観察してみよう！」

生きたサンゴを水槽で観察し生態を知る。じっくり観察する力を身に着ける。

図鑑を使って観察して魚を調べ知識を身に着ける。

教科書との関連：「理科」・生命のつながりを考える。 指導要領：生命の連続性

：「総合」

(3) H29年6月15日 第3回「マスク、フィン、スノーケルの正しい使い方を身に着ける。」

プールでの事前練習を行い、安全確保と共に今後も海に楽しむ足がかりを作る。

教科書との関連：「体育」水泳 指導要領：運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身につける

(4) H29年6月29日 第4回「海洋でのシュノーケリング実習」

シュノーケリングを通し、地元の海を観察し海の中の世界を知り実施する。

水質調査デモンストレーションを通し、海と自分たちとのつながりを感じてもらう。

教科書との関連：「総合」

(5) H29年7月4日 第5回「まとめ・フサキの絵巻・伝えたいこと」

4回目までの授業の振り返り。石垣での環境問題や取り組みを紹介、地域と海と自分たちの暮らしを結び付けて話し合う。

教科書との関連：「社会」わたしたち食生活と食料生産 指導要領：公害と国民の生活環境との関わり（大気汚染・水質汚濁など）

：「総合」

(6) H29年11月2日 第6回「学習発表会」

授業で学んだことを校内、校外へ発信していく。

教科書との関連：「国語」次への第1歩～活動報告書～ 指導要領：目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことを的確に話す。相手の意図をつかみながら聞く

グラフや表を用いて書こう 指導要領：引用や図形やグラフなどを用いたりし、自分の考えが伝わるように書く

② 実践の評価について

今年度で4回目の授業となり、下の学年の子どもたちも楽しみにしているようで、年々学校自体に定着してきている。

海に近い学校であるが故の独自のプログラムであると評価する。

5、今年度の実践

① 計画からの追加・変更点

H29年6月21日に予定していた第4回シュノーケリング学習が悪天候のため、6月29日に変更になる。

② 実践の成果

本校では5年生を対象に、これまで3年間にわたってシュノーケリングを軸とした地先の海の学びを実践してきた。その結果、児童たちが自分たちの住む島を取り巻く海をしり、守って行きたいという意識が生まれていると感じる。

海に近い環境にありながら、海の中の環境を知らない子どもたちの多さ。

その中でこのプログラムを行うことで、離島の美しいサンゴ礁環境を愛し、生かしていくことのできる人材育成の重要なステップであると考えられる。

こどもたちからは「サンゴ学習をしてサンゴの大切さがわかった。」「サンゴのことが勉強できて良かった」等の声が上がった。

③ 次年度への課題

事前・事後指導の強化

保護者への理解

開催時期の考慮（梅雨の大雨でシュノーケリングの開催予定が変更となる）

6、主な連携機関及び内容

わくわくサンゴ石垣島（地域の環境教育団体）

石垣島の小学生を対象に海の環境教育を行っている団体である。

5年生「サンゴの海を知り、体験し、愛する学習プログラム」

【実践のねらい】

目の前を青い海に囲まれている石垣島であるが、クラスの半分の子どもたちが実際に海に入ってサンゴを見たことないという現実。自分たちの住む地域の海やその関わる生活とのつながりを知ることによって、自分たちにこれから何ができるのかを考えさせる。豊かな自然が残る八重山諸島の海に親しむ、海を知る、海を利用する、海を守る、この4つのキーワードを組み込み、サンゴの生態はもちろん、地域とその関わる人々や生活を学び、海をまもりたいという意識を持てるよう促していく。考え、話し合い、外へ発信することによって、自主的に学び実践し、発展する力を身につける。

主な連携機関
・わくわくサンゴ石垣島
地域の環境教育団体

○時数 5月～11月 14時間（総合的な学習の時間6、体育4、理科2、社会1、国語1）

○関連 体育、理科、社会、国語

- 目標
- (1)生きたサンゴを観察することによって、自分と同じ動物であることを実感し、サンゴの骨が島を形作っていくことを学ぶことができる。
 - (2)地先のサンゴ礁の海をシュノーケリングで体験することでサンゴ礁の生き物の暮らしを発見する。実施前にプールでの事前練習を行い、安全確保を行うとともに、今後も海に親しむ足がかりを作る。
 - (3)地域の海と私たちの生活を結び付けて考えることで地先の環境問題の課題を話し合い、自分たちでできる海の環境保全活動を実施する。

